

編集デスク <30>

本年の J 医大の卒業生のなかにいるかわり種のドクターのことが話題になっている。このドクターは旧制一高を病気で中途退学した人である。昭和 11 年の入学であるから、本年はすでに 40 有余歳になる。

このドクターは、基礎も、臨床もそしてまたその総合においてもトップの成績をしめた。このような成績抜群の学生は J 大学はじまって以来であるという。

年令が高いのだからといってしまえばそれまでだが、闘病 10 余年のち再起して所志を貫徹したのだから、その執念は賞されて然るべきである。J 大においては、一高時代と同級生が、すでに教授になってい

た。寮生活を共にした友人が、片や教授となって壇上にあり、片や学生として壇下にあつて講義を聞くのだから、なみなみの覚悟ではできないことである。

友人の教授は、かつての友人だからというので甘い点をつけるのでは

40 過ぎの晩学のドクター

——長谷川 泉——

なく、反対に厳しく減点しようとしたが、その余地がなかったと語っていた。りっぱな成績である。晩学ということはあるにしても、このようなことは珍しいことである。

通信教授をはじめ、ずい分苦労しておくれをとりもどす努力がされたようである。内に持するものがあれ

ば、望みはいつかなえられる。ドクターの家に生まれたから、ドクターになることははじめからの志望であつたと思うが、そのプロセスが大変であつた。

最近、このドクターのクラス会の集まりがあつて、参会の皆から、大いに祝福を受けていた。苦しみの道は長かつたが、一陽来復の日はいかにも喜ばしく、この晩学のドクターの将来が輝かしいものであることを、参会の皆が期待したことであつた。

人生の半ばをすぎて、新しい社会に出てゆく、このドクターのような人生があることが深い感動を呼んだ。祝福への謝辞が終わっても、拍手はしばし鳴りやまなかつた。

ファレンスの時、学生に実習のあり方についてどうしたらよいかとか、その他の話をひっぱり出して、だからこういうふうにいると看護婦の人格形成とか、そういうものがいかにたいせつかという総合的なことを話したり、いろんな違った意味でそういうことはやっています。

伊佐 内科からよそへかわるときに、感想文を書かせるようになっていきます。上の欄に学院の評価と私のほうで書く所があります。一応学院で見て病棟へ回ってきます。私たち看護婦がその人の考え方の訂正や、よかったことなどをほめるとか、いろんなことをしています。

三上 その感想文は見た人がいろんなことをつけ加えると、学生にかえすわけですか。

伊佐 学生の所にかえるらしいです。全部とじてきますけれども、ばらばらにして本人にかえす。

三上 うちでは評価表（実習状態経過記録）の記載は主任の責任なんで学校所属の臨床指導者は、アネクトータルレコードを主任に渡すように心掛けてはいますが。

村上 それはいいわけですね。本来はそうあるべきだと思いますね。

三上 主任が学生と面接し終わったものが、各臨床指導者にかえてくるわけです。私どもも必要のある学生とは面接します。最後は人物評価の資料として残る。

村上 年令的な差はどうですか。主任さんと。

三上 同じくらいです。

村上 だからいいんですね。

鮫島 三上さんの所で臨床指導者が学生の評価表に全然タッチしないという理由は？

三上 主任も臨床指導者の一人ですが、学校に所属し

ている私どもは、一人でいくつもの病室を持っているわけですから学生のすべてを見ているわけではないですね。臨床指導の責任はあくまでも、主任にあるわけです。

鮫島 臨床指導者はあくまでも補助的な……。

村上 そういう点ではうちも同じなんですね。だってそんなに 20 何人も見られないでしょう。そんなたくさんの病棟の患者 130 人も頭の中にはいらぬ。主任さんのほうがよっぽどくわしい。

鮫島 だれが評価しても、何らかの形で評価のための評価でなく、指導のための評価になることが大事ですね。

村上 そこを誤ると逆効果になるわけですね。

伊佐 そうですね。ただ点とりだけになっちゃって。

三上 実習評価を学院としてどうとり扱うかという点で、学籍簿にのせるかどうかということについては。

鮫島 ほんとは学籍簿の 50% ぐらいの価値を占めるほどの実習になってほしいですね。

村上 時間としては相当の時間を使っているんです。

鮫島 看護学と名のつく以上絶対に実習評価が重んじられなくては……

三上 そのためにも評価者のレベルの一致を実現したいですね。現在のところみなさまのところはどうしていらっしゃるんですか。

村上 私のところは、5, 4, 3, 2, 1 です。これがつまり点になると 90, 80, 70, 60, 50 です。

鮫島 それは成績表につけてあるわけですか？

村上 学籍簿には 1/3 はいります。内科の実習としては、3 年間の実習点の平均が 1/3 総合点にはいるわけです。